

2-①

学年に応じた自主学習の指導

(1)

家庭生活と学習の手引き

家庭と学校・保育園が 協力し合って



子どもたちの自立をめざしましょう

★この冊子は保護者会、PTA総会、学年PTA等で使用することがあります。その時は、学校に持ってきてください。

青谷町教育振興会

(2)

保護者のみなさまへ



子どもたちの自立をめざして家庭と学校
(保育園・小学校・中学校)が協力していきましょう



近年、子どもたちを取り巻く環境が急激に変化し、「人とのかかわりが苦手である」「学びの意欲が低下している」「メディアとの関係がうまくとれない」などの問題が懸念されています。

青谷町教育振興会では、保育園・小学校・中学校が連携して「15年間の青谷の子どもの育ち」を考えて、生活リズムの確立を目指した「3点固定(学習時間・睡眠時間・メディア時間)」に取り組んできました。

この「手引き」は家庭における基本的な生活習慣の確立を土台にして、家庭で子どもたちが自分で生活・学習をすすめていけるようにと、年齢に合わせて具体的なアドバイスやヒントを集めて載せています。

みなさまには、このような趣旨をご理解いただいて、子どもたちのよりよい自立に向け、ご活用いただければ幸いです。



〈家庭に心がけていただきたいこと〉

(1) 基本的な生活習慣が身につくよう心がけましょう

- ①3点固定(学習時間・睡眠時間・メディア時間)を確立して、基本的な生活習慣が身につくよう心がけましょう。
- ②バランスのとれた朝食をとり、規則正しい生活リズムをつくりましょう。
- ③テレビの視聴時間やゲーム・インターネット・スマホの利用時間を決めて、メディアとのつきあい方を考えましょう。(時間、ルール、マナー)

(2) 子どもの健全育成を意識して、子どもとしっかり向き合しましょう

- ①子どもの話をしっかり聞いたり、親の思いをわかりやすく伝えたりする時間が大切です。
- ②身近な自然体験などを通して、家族と一緒に過ごすことが、親子のふれあいを深めます。
- ③手伝いを通して家族の一員としての自覚を育みましょう。手伝いは、生活経験の広がり、親子のふれあい、手先の器用さの育成等の効果があります。

(3) 家庭学習の習慣づくりにつとめましょう

- ①毎日、家庭学習をすることで、学校で学習したことがより深く身につきます。
- ②次の日の学習の準備をすることで、授業に主体的に取り組む姿勢が育ちます。

年齢による成長の流れ

	遊び	生活	読書	メディア	生活と遊び												
すくすく 保育園		あいさつ 生活習慣を身につける 簡単なお手伝い	ファミリー読書 絵本に親しむ 読み聞かせ	2歳まではテレビ視聴をひかえめにする テレビ・ビデオ・ゲームなどは親子で時間を決めて	健康 …… 健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活をつくり出す力を養う 人間関係 …… 他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う 環境 …… 周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養う 言葉 …… 経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う 表現 …… 感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする												
					国語	算数	生活	外国語	音楽	図画 工作	家庭科	体育	総合	道徳			
小学校 1年	共同遊び	手伝い読書	読み聞かせ	テレビ・ゲームは時間を決めて	●	●	●		●	●		●		●			
2年		外遊び		(ゲームは1時間まで)													
3年	ギャングエイジ 外遊び	生活の3点固定	1人で読書				●	●						●			
4年																	
5年	チーム遊び スポーツ							●			●						
6年																	
中学校 1年	部活動				●			●		●	●	●	●				
2年																	
3年																	



乳幼児期 はこんな時期です

すくすく保育園

0・1歳児は

「子どもとのスキンシップをとり、愛情豊かに育てる時期」です。

- 首がすわり、寝返り、おすわり、腹ばいなど全身の動きが活発になり、つかまり立ちやつたい歩き、歩行へと運動機能が発達します。
- 周囲の人や物に興味を示し、探索活動が活発になります。
- 特定の大人とのかかわりにより、情緒が安定する一方で、人見知りが見られます。
- 大人から自分に向けられた気持ちや簡単な言葉がわかり、意思や欲求を喃語・単語や身振りで伝えようとしています。
- 食事は、離乳食から幼児食へ移行し、毎日の食事や生活リズムが整っていきます。

* 保育園ではこんな姿をめざしています。

- 安全な環境の中で保育士に見守られ温かい雰囲気の中でゆったりと過ごします。
- 身近な人や物に自発的に働きかけ好きな遊びをみつけてじっくり遊びます。
- 手遊びや体操・リズム・歌に合わせて体を動かすことを楽しみます。

2・3歳児は

「子どもが自分でしようとする気持ちを大事にする時期」です。

- 食事、排泄、衣類の着脱など身のまわりのことを自分でしようとし、ほぼひとりでできるようになります。
- 歩く、走る、跳ぶなどの基本的な運動機能や指先の機能が発達します。
- 自我が育ち、「いや」「だめ」「じぶんで」など強く自己主張する姿も見られます。
- 言葉が豊かになり、自分の意思や欲求を言葉で表現できるようになります。

* 保育園ではこんな姿をめざしています。

- 基本的な生活習慣が身につき自分から意欲的にしようとしています。
- 保育士や気の合う友だちと好きな遊びを一緒に楽しみます。
- 身近な自然に触れて驚きや関心を持ちながら楽しんで遊びます。
- 自分の思ったことや感じたことを表現し、保育士や友だちとのかかわりを楽しみます。
- 明るく伸び伸びと生活し、自分から体を動かすことを楽しみます。

4・5歳児は

「意欲をもって生活や活動をし、生きる力を育てる時期」です。

- 全身のバランスをとる力が発達し、体の動きが巧みになり、運動機能が伸びます。
- 感情が豊かになり、身近な人の気持ちを察し、少しずつ自分の気持ちを抑えたり我慢ができるようになります。
- 仲間の意思を大切にしようとし、役割分担が生まれる協同遊びやごっこ遊びなどに取り組もうとします。
- けんかを自分たちで解決したり、異なる思いや考えを認めるなど社会生活に必要な力が身につけていきます。
- 自分の身の回りのことを進んで行い、見通しを持って生活しようとしています。
- 日常生活の中で数や文字などに関心をもつようになります。

*保育園ではこんな姿をめざしています。

- 友だちと一緒に多様な動きを経験し、運動の楽しさを感じながら基礎体力の向上を目指します。
- 身近な自然に触れ発見や感動を友だちと共有し関心を深めていきます。
- 遊びの中で身近な事物に触れ、物の性質や数量、文字などに興味を持ちます。
- 絵本や物語などを通して、想像や空想の世界に触れ、表現することを楽しみます。
- 友だちとふれあう遊びを通して、遊ぶ楽しさや思いやる気持ちを育みます。

【家庭生活のポイント】

あ

明るくあいさつ

- 家でも……名前を呼んであいさつをしましょう
- 保育園でも……子どもも大人もすすんであいさつをしましょう
- 地域でも……まずは大人から誰にでもあいさつをしましょう

お

「おやすみなさい」ぐっすり睡眠

午後9時までには寝ましょう

や

やくそくを守る

- テレビを消して家族で食事をしましょう
- テレビ視聴は少なくし、親子で触れあって遊びましょう

